

日時 令和3年1月27日(水) 午後1時30分～
場所 愛南町役場 3階 大会議室

第3回愛南町防災休憩施設計画検討会議事要旨

○議事

- 議題1 第2回検討会までの議事要旨について
- 議題2 基本構想(案)のとりまとめについて
- 議題3 今後の予定について

【資料を事務局が説明】

委員などからの意見については次のとおり

第2回検討会までの議事要旨について

- 資料により決定事項について事務局から説明
 - ・防災休憩施設の規模は10,000㎡以上を目安。
 - ・高さについては、津波一時避難場所として現在設定している標高15m以上を確保。
 - ・アクセス道路は、松軒山公園との連携を重点に置き、園路を活用。
 - ・防災休憩施設の候補地として、A案(標高約30m)に決定。
- ・委員全員 決定事項の確認であり、意見無し。

基本構想(案)のとりまとめ

【事務局】

- ・防災休憩施設は、御荘・西海地域の災害拠点施設となるが、施設周辺は、大型スーパーやレジャー施設があり、津波による避難者想定人数は最大約3,500人としています。交通事故、急患などのドクターヘリの中継施設としての機能も含め今後具体的な検討が必要です。

【委員からの意見】

- ・燃料貯蔵の議論が少ない。災害時、車両とヘリコプターに大量の燃料が必要となる。法的な問題等あると思うが、最低限必要な燃料は備蓄しておくべきではないか。

- ・平常時と災害時を分けて考えなければならず、タンクローリーで一度に運べる量と、ガソリンスタンド1箇所分の燃料では、車両とヘリコプターによる早急な対応ができない。地下等を利用など、災害時を想定し今後検討して欲しい。

【 事務局 】

- ・以前ガソリンスタンド建設の議論もあったが、災害時の際、自衛隊がタンクローリーで運搬してくれることと、災害時に危険な施設であることから、今のところ建設予定はありませんが、検討資料P7に地下への燃料タンク建設は記載されており、今後の検討課題といたしたい。

【 委員からの意見 】

- ・未事業化の「宿毛～内海」は29kmある。全国的な事例で新規事業化区間は区切られると思われるので、暫定的な状況においても、防災休憩施設が有効に機能できるように、高速道路の事業化の動きに沿って、防災休憩施設の計画を立てていく必要があるのではないかと。
- ・高速道路の事業進捗とも大きく関係することなので、町とは密に今後もスケジュール調整をしていきます。
- ・委員長による採決の結果、基本構想（案）について、委員全員 異議なし。

今後の予定について

【 事務局 】

- ・今回の議事要旨と基本構想作成後、HP等に掲載予定です。

【 委員からの意見 】

- ・基本構想は、事業化に向けての重要事項であり、可能な限り速やかにとりまとめを行い、町民の方々への情報発信をお願いします。
- ・防災休憩施設は、高速道路と連携することでその機能が十分に発揮できる施設であり、町民の安全・安心のため、国においても高速道路の早期事業化に向けて引き続き取り組んでいただきたい。
- ・委員長 町民の方々への情報発信について、事務局は早急に処理をお願いします。

そ の 他

【 事務局 】

- ・この会の目標の基本構想はこれで作成できるが、この検討会の存続は、国・県・町との情報共有のうえでも中長期的に必要と思いますが、意見はありませんか。

【 委員からの意見 】

- ・現在での論点は防災面だが、将来的に平常時の基本構想の検討も必要です。今後は実務的な話もあると思うので、担当レベルでの協議も必要だと思います。

- ・委員長 今後も国・県・町とで災害時・平常時の検討のため、必要に応じ、形を変え開催する方針としてよろしいか。

- ・委員全員 了解